

1945年3月4日を 忘れない

—谷中は戦場になった—



昭和20年3月4日午前8時30分、谷中地域に空襲がありました。死者80人以上、重軽傷者155人を超え、家屋の被災も全壊・半壊195戸に及んだと記録されています。

戦禍で犠牲になった人達の供養に「三四真地蔵」「十四地蔵」「平和地蔵」が町内で建立され、67年を経た今日でも献花が絶えません。

この「戦争の記憶を今に伝えていく」つどいも13回を数えています。当時被災されたご町内の方々も高齢となり、お話をされるのも困難な状況になってきています。みなさまのご参加を心からお待ちしております。

日時：3月4日(日)午前9時から12時

9:00～映画上映など

10:00～お話「いのちが護れる防災」森まゆみさん
(谷根千、作家)

11:00～空襲、戦禍の語り部から(その日私は…)

地域雑誌谷根千では創刊20年目にはじめて空襲の特集ができました。

谷根千は空襲に焼けなかった町というのほうでした。

3月4日の空襲の実態を、そのときの町の方たちの動きをお話します。

千駄木3丁目の23人の犠牲者をだしたあとには平和地蔵が、谷中の三崎、初音4

丁目、真島町の犠牲者のためには三四真地蔵が建てられました。いまも町のみ

なさんがお守りしていますが、これからのこともかんがえなくてはなりません。

これから3年以内に東京に直下型地震が来る確率は70%と東京大学地震研究

所は発表しました。おりしも谷中コミュニティセンターの防災建て替えも始まります。本当にいのちの助かる町、コミュニティとはなんなのか、東北を歩いた目でお話したいと思います。(森まゆみ)



参加費：資料代として200円

会場：谷中コミュニティセンター 第1・2・3会議室
台東区谷中5-6-5 電話(3824)4041

*「聞こえ」の悪い方へ：磁気ループを区が無料セット！要申込み(3824-2611 台東教科書ネット・和田)

主催：谷中千駄木歴史の会・谷中九条の会

和田 3824-2611、須賀 3824-5921、橋詰 5685-3573、
田辺 3821-7513、木下 5815-8586、本間 3827-3305